

下北半島ジオパーク構想について! ~その1~

市では、今年度からジオパークについて調査・検討を行い、むつ市を含む下北半島として日本ジオパークを目指す活動を行っています。

『ジオパーク』といってもなかなか馴染みのない言葉ですので、今月号から始まるジオパークコーナーでジオパークについて知っていただき、みなさんと一緒にジオパークを盛り上げていきたいと思います。

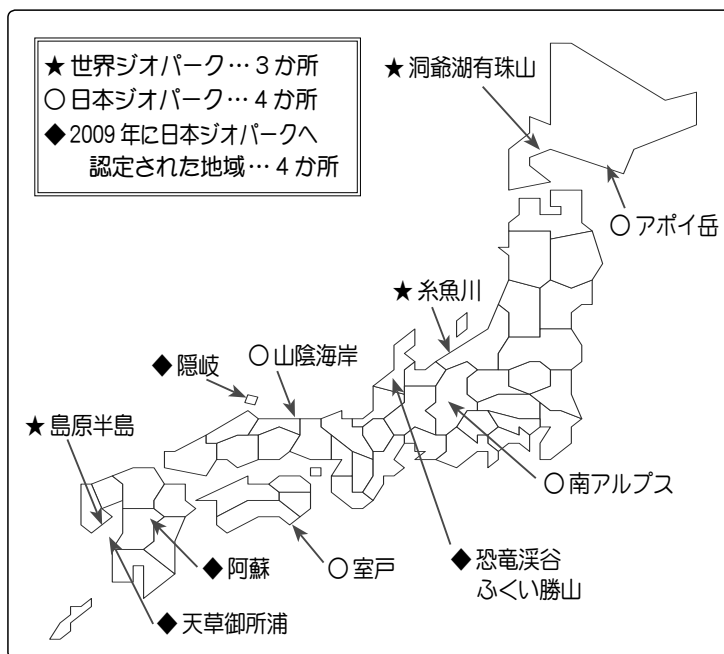
【ジオパークって何?】

ジオパークとは、地球(ジオ)に関するいろいろな地質資源(地層・岩石・地形・火山・断層など)を含む自然豊かな公園(パーク)のことを言います。

地球(ジオ)に関わる地質資源を保護し研究に活用するとともに、自然と人間との関わりを理解する場所として整備し、教育や防災教育の場として、また、新たな観光資源として地域振興に活かしていこうとするものです。

ジオパークには『世界ジオパーク』と『日本ジオパーク』があり、それぞれ世界ジオパークネットワークや日本ジオパーク委員会に認定されて初めて『ジオパーク』という名称を使うことができます。

現在、世界では9か国64地域が『世界ジオパーク』に、また、日本国内では11地域(うち3地域が世界ジオパークに認定されています)が『日本ジオパーク』に認定されています。



【むつ下北と日本ジオパーク】

むつ市を含む下北半島には、関根地区・田野沢地区の海底林、川内町の宍部城跡山跡や大滝、佐井村の仏ヶ浦や篠道石山など、たくさんの優れた地質資源があります。

これら優れた地質資源を、教育の場や観光資源として整備し、たくさんの人に知っていただけるような活動を行なっていくことが『日本ジオパーク』に認定されるために必要となります。

下北半島の豊かな自然を全国の人へ発信していけるよう『ジオパーク』に取り組んでいきましょう!

これからも、定期的にジオパークに関する情報を紹介していきます。また、市本庁舎の開放エリアにジオパークに関するポスター等を掲示していますので、どうぞご覧ください。

〈詳しくは〉
市企画課 ☎22-1111 内線 2313